



南町小だより

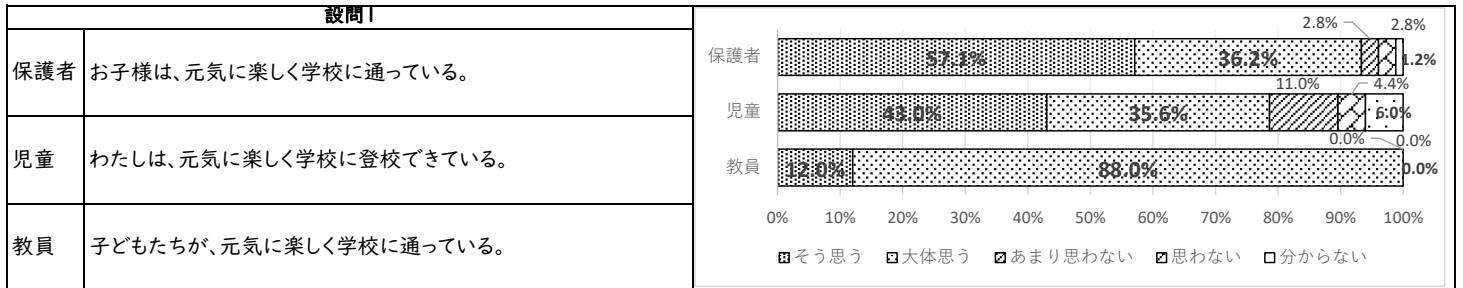
つよく かしこく あたたかく

練馬区立南町小学校
令和5年度教育活動状況調査集計号
令和6年3月5日
校長

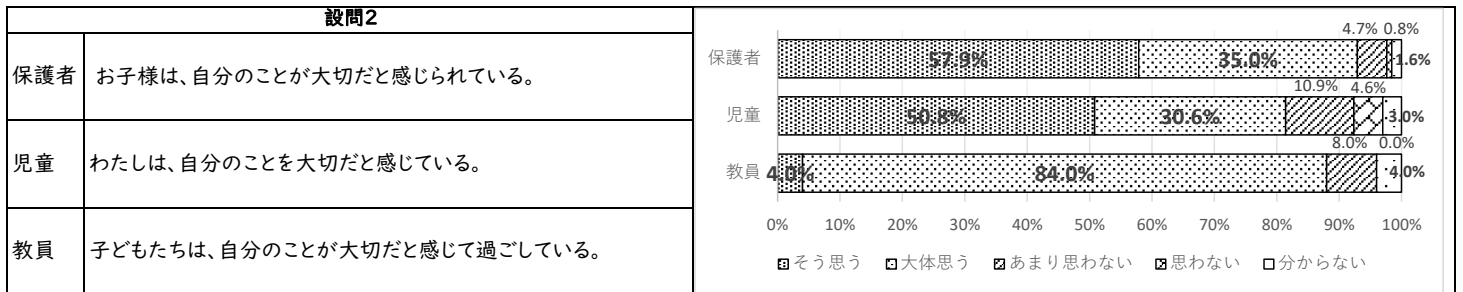
令和5年度南町小学校教育活動状況調査 結果集計

12月に保護者の皆様と児童、教職員で行ったアンケートの集計です。ご協力ありがとうございました。

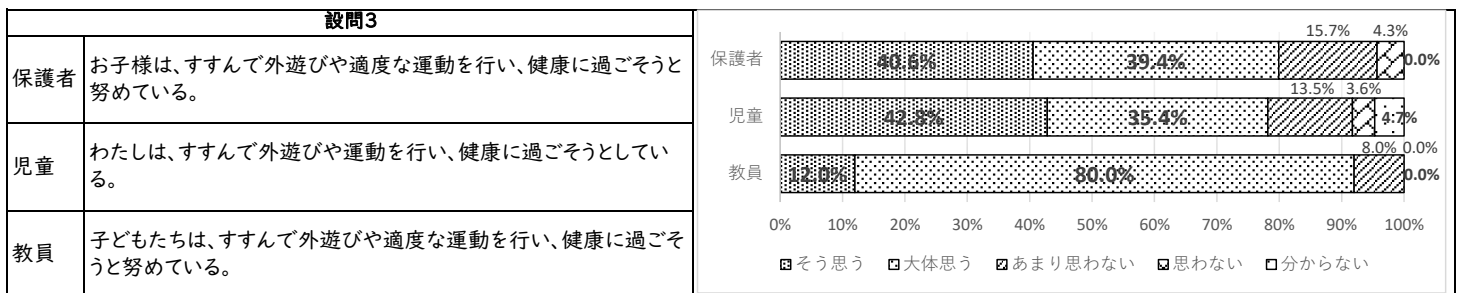
回答率 保護者 66.5%、児童 95.8%、教員 100.0%



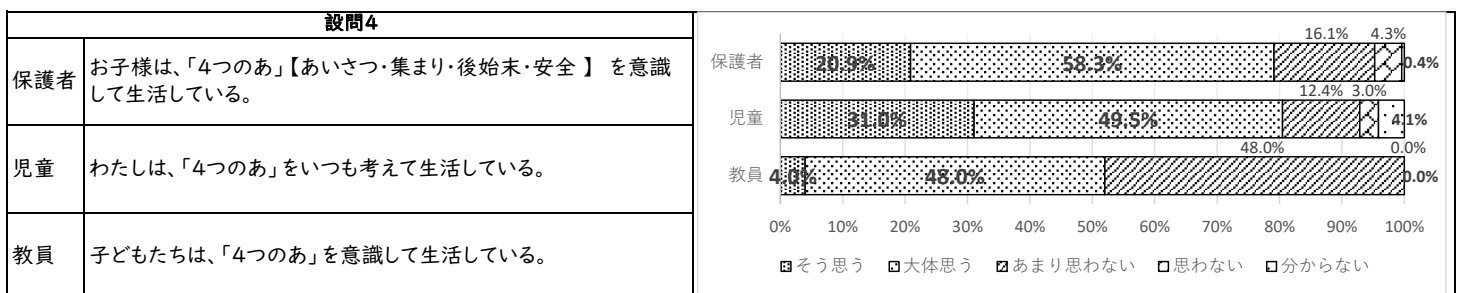
保護者、教職員は90%以上の方が「そう思う」「大体思う」と回答していました。しかし児童の「そう思う」「大体思う」という回答は80%に到達していません。今年度は活動制限がほぼ解除されましたが、昨年度と変化がありませんでした。算数の習熟度別学習ができない状態が続き、学力の保障が十分にできなかったことが大きいかと思えます。学びが楽しいと思えるような授業づくりをできるように努力してまいります。



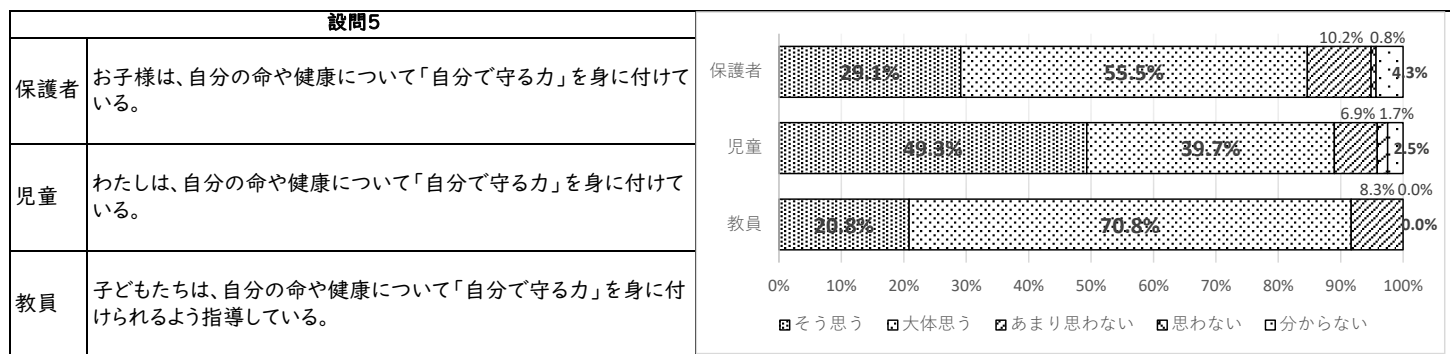
今年度新設した設問です。児童の約20%が、否定的あるいは不明と捉えています。自己肯定感を高められるように、授業でのグループ学習、学級活動、学校行事などを通して、一人一役児童に活躍の場を約束したり、褒める言葉掛けを増やしたりすることで自分が大切にされている感覚を育みたいと思います。



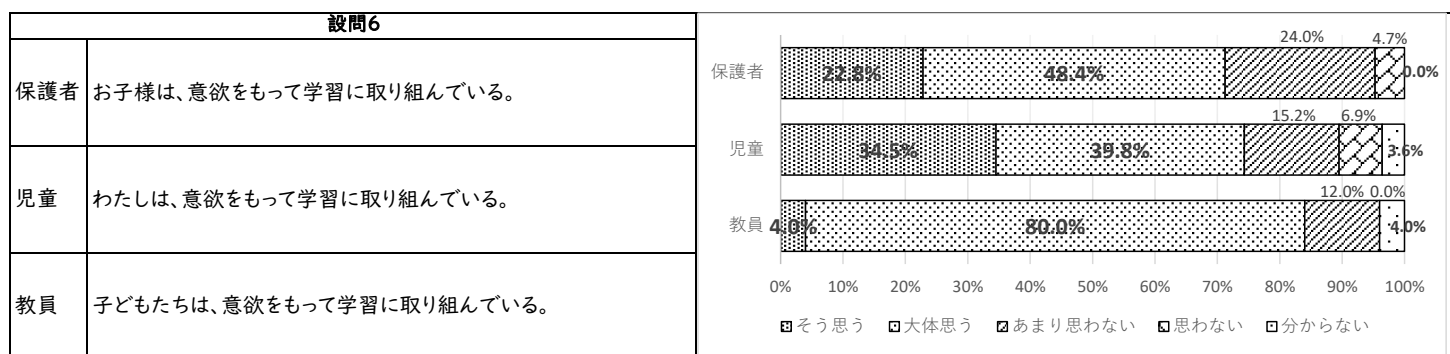
児童、保護者の「そう思う」「大体思う」という回答が80%を下回っています。感染症対策で外遊びについて積極的に促していなかったことが主な原因として考えられます。今後は外遊びについて言葉掛けを増やしたり、クラス遊びなどで意図的に外に出る活動を増やしたりしていきます。また縄跳びや持久走など持久力を高める運動を1年間を通して分散して行い、体育の時間にも継続して指導し、年間を通じて体力を高めていきます。



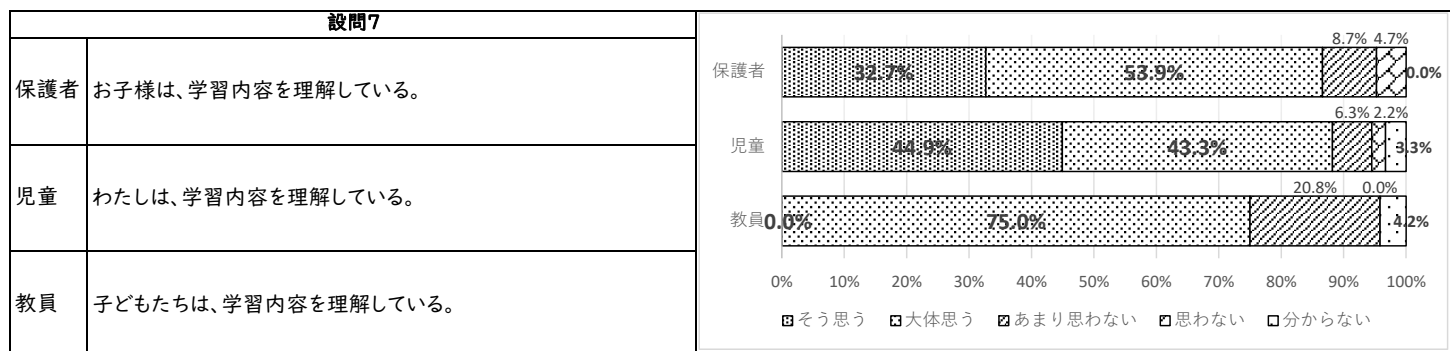
児童・保護者は約80%が「そう思う」「大体思う」と回答しているが、教員が50%台と低くなっています。代表委員によるあいさつ運動などの効果もあり「あいさつ」については以前より向上したと思いますが、教職員は「集まり」「後始末」といった、集団生活において欠かせない行動にめりはりをつける場面で課題意識を感じています。時計を意識させる、使った後のマナーについて機会のあることに指導してまいります。



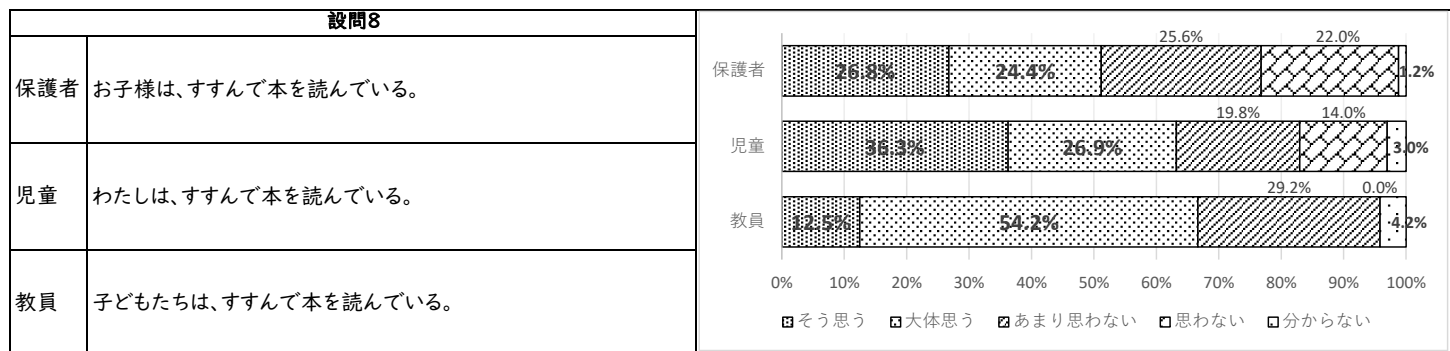
教員は「そう思う」「大体思う」を合わせて90%を越えています。しかし「あまり思わない」「思わない」と回答した保護者・児童が約8%いらっしゃいました。学校の実施状況を問うのであれば答えやすいとの意見もいただきました。設問内容を吟味していきたいと思えます。取組としては、毎月の避難訓練や安全指導の充実や、セーフティ教室・情報モラル教室・薬物乱用防止教室など外部機関との連携を通して、安全教育の推進に努めてまいります。



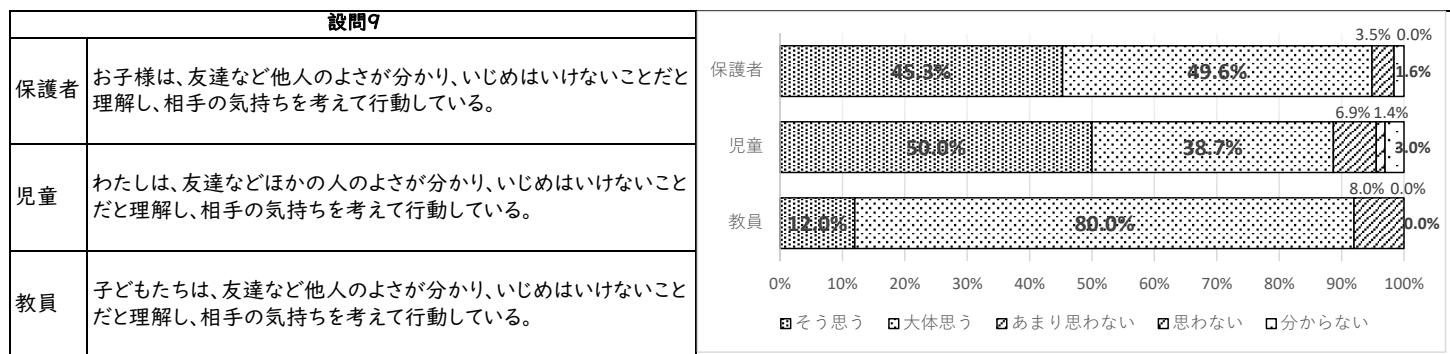
教員は肯定的な回答が84%に達していますが、保護者や児童は20%以上が否定的な回答となっています。本校の児童は授業中などやるべきことが明確になっている時に意欲が見られるが、家庭にもどった後、自主的に考えて学習に取り組まなくてはならない状況になると、他の誘惑に負けてしまうことなどが考えられます。自主学習を奨励しています。中学生になった際に主体性が求められることを、低学年のうちから指導してまいります。



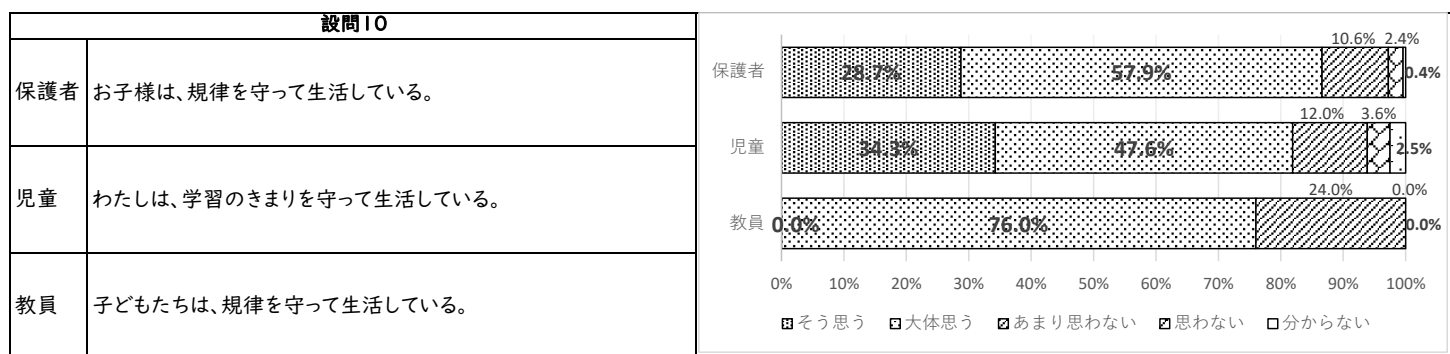
設問6とは反対に、肯定的評価が保護者と児童は80%台なのに対して、教職員は75%となっています。評価の結果をワークテストなどでのみ知る事が多く、その結果のみで判断していることが考えられます。実際の評価はテストのみではなく、ワークシートや授業中のノート、発言などでも評価していることを丁寧に伝え、テストのみでなく、児童のノートなどにも注意していただくよう保護者会や個人面談でお伝えしていきます。



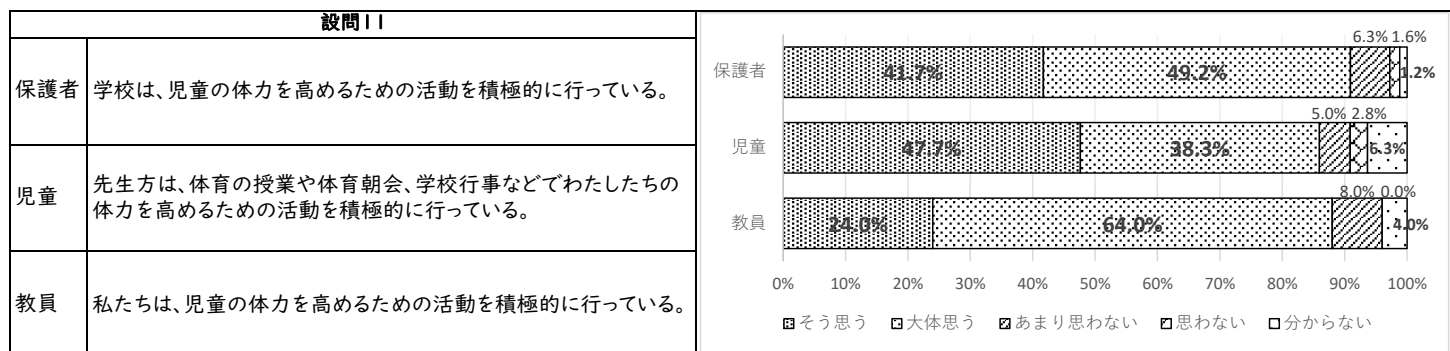
肯定的評価が保護者、教員、児童の全てで50~70%と低く、昨年度の評価よりも下がってしまいました。昨年度の反省を踏まえ、年間を通した読書カードの取組を図書委員会により始めましたが、それを受けて厳しい評価になったものと考えられます。次年度は朝読書の回数を増やすとともに、教職員・保護者・児童相互の読み聞かせを取り入れるなど、図書館の利用機会や図書に触れる回数を増やしていきたいと考えています。



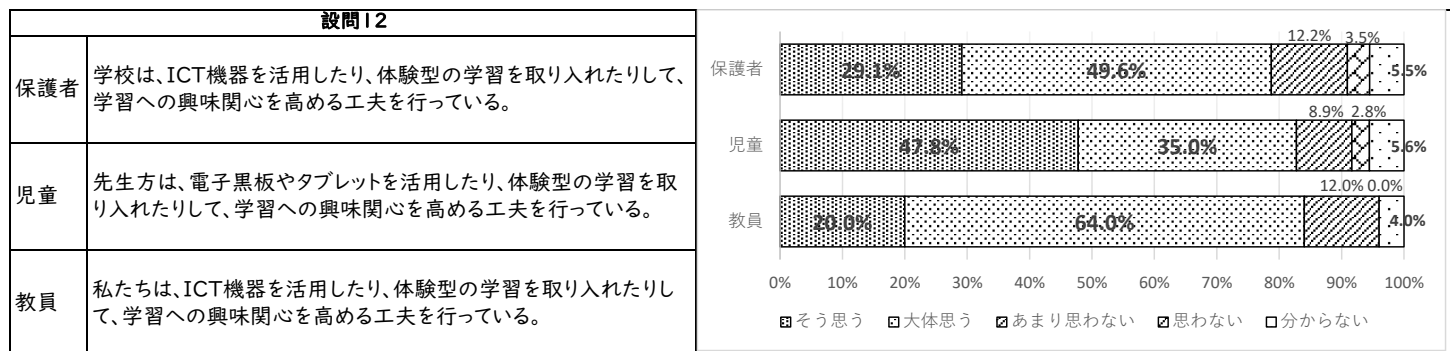
保護者・児童・教職員の全てで肯定的評価が85%を越えており、いじめに対する意識の高さが感じられます。しかし肯定的評価を100%にしたい項目ではあるので、更なる努力が必要です。年3回のふれあい月間における聞き取りを丁寧に行い、いかなる理由があってもいじめはいけなことだと理解させるとともに、道徳や特別活動などでいじめについて考える授業を毎学期実施するなどして意識の強化を図っていきます。



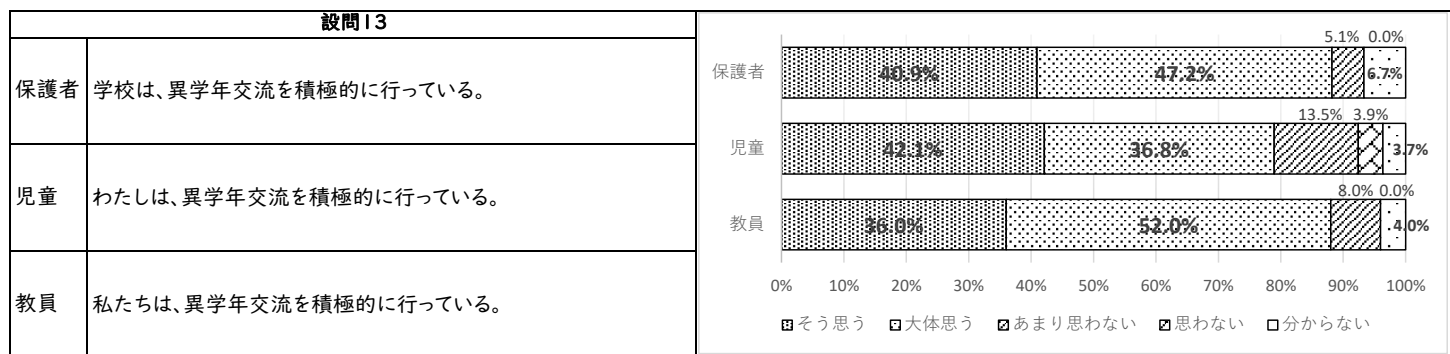
肯定的評価が保護者・児童が80%を越えているのに対して、教職員は「そう思う」との回答が0%で「大体思う」も76%となっています。学習に必要な道具についての認識のずれや、規律の捉え方に違いがあるものと思います。学習に必要な物について児童に調査を行い、不必要と判断した物については理由付けを丁寧に行い指導してまいります。



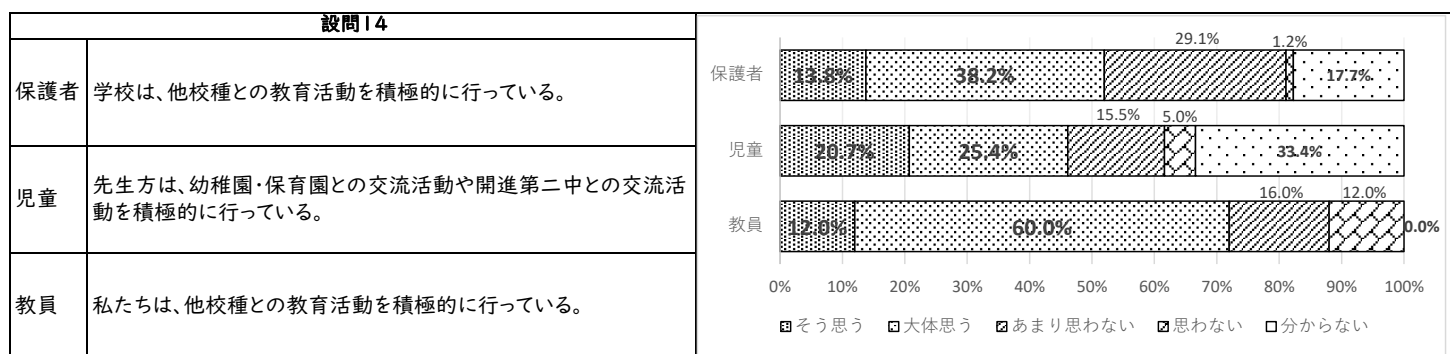
肯定的評価が保護者・児童・教職員の全てで85%を越えています。運動会や持久走大会を公開で行っているため、可視化しやすかったことが考えられます。今後は更に多くの種目で自己の成長が感じられるように、体育の時間や体育朝会等で使用する学習カードの内容を見直すと共に、新体力テストの課題となっている運動について、朝会や授業で取り入れるように改善していきます。



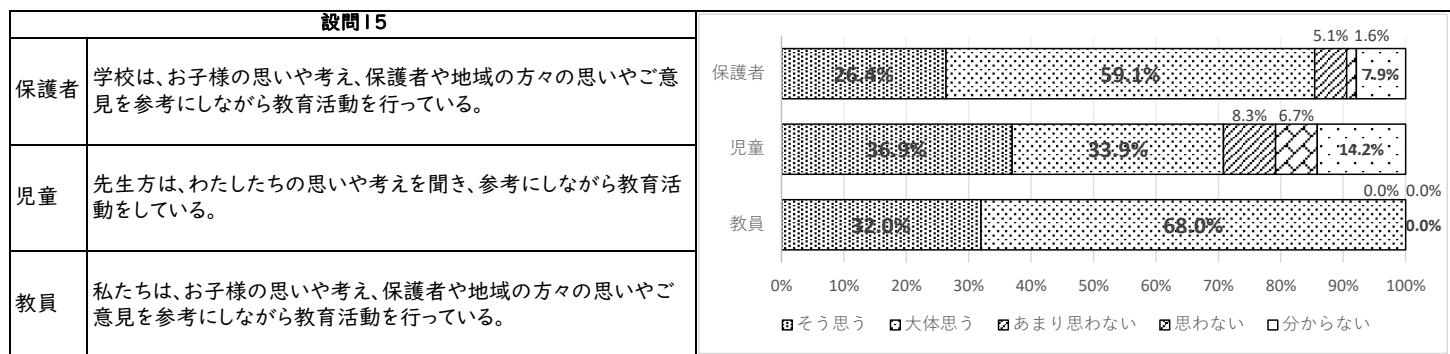
肯定的評価が保護者・児童・教職員の全てで90%に達しませんでした。タブレットやICT機器を計画的に使っている様子や外部講師の活用様子などをお示しできていないことによるものと思います。めあて、活動の経過、まとめという授業の一連の流れが一目で分かるような板書を心がけること、電子黒板・書画カメラ・タブレット端末などのICT機器を導入した授業を更に展開するなどして、「分かる・できる」を体感できる授業を目指します。



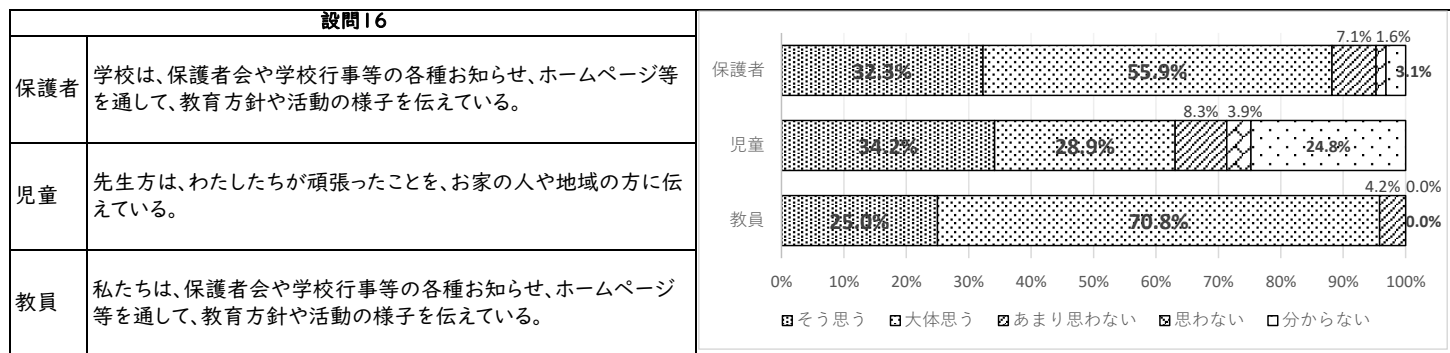
肯定的評価が保護者・教職員では80%を越えましたが、児童は80%に到達しませんでした。毎月1~2回のふれあい班活動を行っていますが、その他の活動において十分な交流が行えていないことが考えられます。今年度は本調査実施後に「南町小スマイルフェスティバル」という交流行事を実施し、児童にとって魅力的な活動になりました。国語科や生活科・総合的な学習における発表相手としての異学年交流などもすすんで計画してまいります。



肯定的評価が、保護者・児童で約50%、教職員でも72%と低くなっています。校区別協議会や研修会などを年3回実施しているため、教職員間の情報共有はできていますが、児童生徒間の具体的な交流活動が行えていないことが考えられます。感染症対策も緩和されていることから、児童会生徒会での交流によって共通実践を行う、中学生が小学校に取組を紹介するなど具体的な活動を検討いたします。



肯定的評価が保護者で80%、児童で71%と厳しい評価をいただきました。児童が悩みや心配を抱えていること、保護者が求めていることに対してこれまで以上に真摯に向き合うことが必要であると考えています。ただし人の意見や捉え方は多様であり、正反対のことを求められることもあります。こうした場合には、安全を最優先に検討してまいります。個々に心配なこと、配慮してほしいことなどがございましたら、遠慮なくご相談ください。



肯定的回答が保護者・教職員では85%を越えました。年度の初めよりホームページで活動紹介を充実させたことが大きな成果であったと思います。一方で児童の肯定的評価は63%でした。学校から連絡する際にお子様の負の行動を伝えるだけでなく、称賛すべき行動も伝えるように留意していきます。その際は褒めてあげてください。一方で負の行動を起こした際には、学校と保護者が共同歩調をとることも大切であると考えます。

皆様から寄せられた自由意見を一部抜粋してご紹介します。なお、児童・教職員個人や学級が特定される可能性のある記述は掲載を控えさせていただきます。ご了承ください。

【ご要望】

①鍵盤ハーモニカの色は緑色だけにしてほしいです。ピンクが女子のイメージになり、緑を選びにくい雰囲気があります。
②縄跳びの購入について、教材を指定して欲しかったです(300円くらい)。そんな高価な縄跳びが必要なのか疑問に思いましたが、みんなが選んでいるものと異なる物を持たせ辛い雰囲気になり、他人と比べてしまって子どもがかわいそうになってしまうと思いました。

⇒学校で配布する注文袋をご家庭で選んでいただく目安として配布をしており、希望される方がご注文されるものであることのご案内が不十分でした。心よりおわび申し上げます。今後、注文袋を配布する際は、明確にお伝えします。学校で一括購入をお願いする際は、その旨のご案内をいたします。

③プリントや、工作の材料などの締切が短いものが多く、対応が大変でした。可能な限り早めに仰っていただきたいです。
④もう少しホームページを充実させてください。(配布物の掲示なども含め。)行事予定や下校時刻をもっと早く知りたいです。

⇒案内が遅くなっていることについて大変申し訳ございません。余裕をもって伝えるよう努めてまいります。次年度より練馬区では、sigfy(シグフィー)という情報伝達システムの運用を開始します。Sigfyでは、PDF化したお便りのメッセージ送信ができます。本校では3月上旬から試行予定ですが、当面の間紙での配付も続けます。今後、学校からの配布物もこちらでご案内します。

⑤人権推進校にも関わらず、子どもたち一人一人の人権を尊重できていないように思います。1年生の最初の頃、男女いっしょに着替え、子どもの衣服や持ち物、体育着や上履きを規定のものに制限したり、キャラものの文房具を避けるように言ったり、人権推進校なのですから慣例に抗ってほしいです。率先して、人権を推進してほしいです。「他人の人権」の話ではなく、もっと身近で大切な「自分(や友だち)の人権(=自分らしく生きていい)」が尊重されるということを身をもって知り、実感していくことが大切です。

⇒ご指摘ありがとうございます。人権尊重教育推進校として、これからも児童の人権感覚とともに教職員の人権感覚を磨いてまいります。「持ち物」については、4年生から6年生の児童にアンケートを取り、児童の思いも尊重しながら見直しと整理をしているところです。ただ集団で学ぶ場である学校では、一定のルールや配慮が必要になります。自分の大切さと共に他の人の大切さを認めることができる児童の育成を目指して教育活動を行ってまいります。

⑥他校種との教育活動について、小中一貫としてどのような事を行っているのか、今後どう行っていくのかについては、保護者に対して情報共有の機会をしっかりと設けるべきではないか。

⇒小中一貫教育は、近隣の開進第二中学校・向山小学校とともに小中9年間を見通して教育活動に取り組んでいます。今後、保護者の皆様にもご理解・ご協力をいただけるような情報発信をしていきます。来年度は、児童生徒同士の交流を充実させていく予定です。また、小中一貫教育につきまして、保護者の皆様からのご意見やアイデア等を頂戴できると幸いです。

⑦持久走大会の運営方法について、学年別・男女別の一斉スタートでの時間計測にて実施をされているが、この方法では足の速い、遅いが明確に出てしまう。「ペースランニング」(自分のペースで一定の時間走り続ける、距離計測)に変更するなど、工夫が必要です。

⇒持久走大会につきましては、これまでに何度か運営の不手際があり、深くおわび申し上げます。内容につきましても、学習指導要領を鑑み来年度は方法を変えて実施することといたします。土曜授業日が年4回になることも考慮し、平日の体育の時間に、「時間走大会(仮)」を実施します。

⑧ICT機器の利用について、学年でもクラス別に利用頻度等が異なっているようなので、活用が十分ではないと感じる。

⑨タブレットがほぼ活用されていないことが気になります。クラスルームで毎日の明日の時間割や宿題を書いているクラスもあると聞いたのでもう少し活用したいと思います。

⇒ICT支援員の力を借りたり教職員の研修を充実させたりして、タブレットを必要な時に活用できる「文房具」になるように利用をすすめてまいります。

⑩「ほけんだより」の定期健康診断のまとめ抜粋というお便りで内科検診、耳鼻科検診など疾患の項目について学年ごとに何人疾患を持っているか数字で表すなど、個人のプライバシーにあたる情報を公開するような行為ではないかと疑問に思います。

⇒ご指摘ありがとうございます。「ほけんだより」等、皆様にお知らせする内容については、個人情報に十分配慮しながら、公開すべき情報、公開を控えるべき情報を精査してまいります。

⑪真剣に宿題に取り組まない等、学校外での日々の学習習慣が定着していないように感じています。家庭の果たす役割が大きいことは理解しておりますが、学校としても「自宅でも毎日学習する」ことによりモチベーションを持てる仕組みを導入していただけるとありがたいです。

⇒本校では、ご家庭でも学習の時間を設けることを大切にしております。宿題の取組とともに、中学年から自主学習についても指導しています。家庭学習の取組の意欲を高める指導も工夫してまいります。また、ご家庭での取組状況はご家庭でも把握していただけると助かります。お子さんの学習の様子等、気になる際は遠慮なくご相談ください。

⑫先日のインフルエンザが流行して学級閉鎖になった時のことですが、もう少し早く学級閉鎖を決定して頂きたかったです。約半数のお子様が病欠になってから学級閉鎖が決まりましたが、もう少しクラス内の流行を抑えられたのではないかと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

⇒ご指摘いただいたことを真摯に受け止め、児童の健康観察を丁寧に行い、練馬区教育委員会と学校医の助言を受けながら適切な判断をしてまいります。

⑬女子同士のトラブルが多いようですので、先生との「あのね作文」や面談を引き続き行っていただきたいです。

⇒これからもお子様と学校で相談しやすい信頼関係を築いてまいります。児童同士のトラブルが起きない未然防止、発見したら迅速に対応して解決を目指していきます。また、本校にはスクールカウンセラーや心のふれあい相談員も勤務しております。不安等ありましたら、ぜひ誰かに相談するように今後も児童に伝えていきます。

⑭運動会をいままでのような運動会に戻してほしい。たまに出る否定的な意見ばかりが取り上げられて今まで普通だったことが廃止されて残念に思うことがあります。(運動会の順位づけ、騎馬戦の廃止、水泳の級、持久走大会の順位づけなど)結果、子どもの目標を設定しづらくなっている。

⇒新型コロナウイルス感染症流行に伴う児童の体力低下、組体操や騎馬戦に見られる安全への配慮、教職員の働き方改革の遂行など多くの課題がある中で運動会のあるべき形を学習指導要領の趣旨と照らし合わせながら、模索しているところです。日程について、9月はまだ残暑が厳しいことを考慮し、10月12日(土)の午前中に行います。さまざま行事や学習等で、児童が目標(めあて)をもって取り組み、振り返る活動も大切にしていきます。

⑮遠足が2・3・4年生と3年間江古田の森公園は悲しかった。

⇒残念な思いをさせたこと大変申し訳なく思います。コロナ禍の影響で令和3年度には本来の光が丘公園での遠足を実現できませんでした。その後、制限は多少緩和されましたが、コロナ5類移行前の実施でしたので、徒歩圏内で行ける場所を選定しました。今後は、行き先を検討してまいります。

⑯学力、体力とも少し低いように見受けられます。子どもたちには基礎能力をしっかり身に付け、健康で人の気持ちにも寄り添う人になって欲しいです。時には厳しく、強く注意して欲しいです。子どもたちの未来の為にも。

⇒児童がこの時期に身に付けるべきことを確実に身に付けられるよう、今後も工夫、努力を重ねてまいります。

⑰授業中に起こる児童同士の問題や問題のある児童への対応が甘いと思う。やるべきは被害者より、加害者側の児童&親への対応だと思う。間違った発言、行動をしている児童への対応をしっかりしてほしいです。

⇒ご心配をおかけしていること、大変申し訳ございません。トラブルが起きた際、被害児童・加害児童双方から丁寧に聞き取ることが大切です。その上で然るべき指導を行い、双方のご家庭にも伝えていきます。

⑱児童の教師に対するいじめも許されることではありません。あらゆるハラスメントに対してきっちり対応して、教師を守ることも大切であると考えています。

⇒いじめは誰が誰に対しても行ってはいけないことを、一貫して伝えていきます。

⑲英語の授業について他の教科に比べて、カリキュラムと到達度の説明や授業内容の提示が少なく、宿題が圧倒的に不足していると感じる(宿題と家庭学習に関しては全体的に少ない)。他の4教科と同様に付けるべき学力をつけさせてもらいたい。

⇒小学校高学年の英語についての情報発信が少なく、申し訳ございません。皆様への情報発信と共に、今後、中学校につながる大切な教科として、児童に、語彙や表現の仕方、コミュニケーション力、発信力などが確実に身に付くように工夫してまいります。

⑳多くの児童がマスク着用のまま活動していたこと、授業参観の際に上級生のほとんどがマスク姿のまま表情が見えずにいたこと、極めて残念です。マスク無しで素顔の卒業式を予定していると思いますが、その前から少しずつ子どもたちに外していくよう呼びかけてください。どうしても外せない子には無理強ひせず、まずは半数の子が常時外せることを目安にするとよいと思います。マスクで表情が見えないことによるリスク、心の問題など、きちんと保護者に開示して、各家庭でもこの問題を話し合ってもらうようにしてください。マスクだらけで顔の見えない子どもたちを相手にするのは、先生方にとっても巨大なストレスだと思います。

⇒マスクの着用の弊害についてのご指摘ありがとうございます。卒業式はお別れ・お披露目の場であることを意識させ、マスクを積極的に外すよう促します。また激しい運動時に外すことも徹底します。感染症や花粉症対策としての着用など、マスクを着用することについてもそれぞれのご家庭のお考えがあることをご理解ください。

◇その他にも、本調査の調査方法なども含め、多数の貴重な意見を頂戴しました。また多くの励ましの声もいただきました。ありがとうございます。その一部をご紹介します。

あまり学校での出来事を話さない子ですが、何かあったときは担任の先生が放課後に連絡をくださります。忙しい中、そうした事をしてくださる先生に感謝しております。

コロナ禍で入学し、制限がある学校生活の中でも、学び方の工夫をしてくださり感謝しております。徐々に行事も復活し、毎日楽しく帰ってくる様子を見て嬉しく思います。ありがとうございます。

友達関係に関しては先生からも気にかけていただき、何かあった際にも話をきちんと聞いてくださっていることに感謝しております。家庭でも時より話し合いや気持ちを聞く時間をできるだけもちたいと思っております。身の回りの整理整頓に関しても、どうしたら片付けをするように(引き出しの中の整理など)工夫をして下さりありがとうございます。

南町小学校は定期的に保護者との交流の場も設けており、展示会や土曜授業公開、ことばの教室などとてもよい行事や機会を創出しているいい学校だと思っています。今後も教育に信念を持って子ども達に基本的な基礎となる習慣や考えを指導していただけると幸いです。

平素より大変お世話になっております。先生方をはじめ、南町小学校に関わってくださる方々に感謝しております。お忙しい中でも、日々の些細な事など、本人に言葉にして伝えてくださったり、本人からの話でも児童を一人ひとり大切に、向きあってくださる事はよく分かります。誠にありがとうございます。今後もお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

娘は毎日楽しく学校に通っています。良い環境を作ってくださいっており、大変有り難く思っています。また、欠席の連絡がネットで出来るようになり、とても便利で助かっています。

☆皆様からのご意見は、教職員全員で共有して、今後のよりよい教育活動への参考にさせていただきます。